

過去に検討した2校統合以外の学校再編案

1 学校再編を検討する時の留意事項

学校再編を検討するにあたって、以下の事項について留意する。

「三田市立学校のあり方に関する基本方針」

- Ⅱ 1 「望ましい学校規模 中学校：9～18学級（各学年3～6学級）」
- Ⅱ 2（1）「同じ小学校区の児童が別々の中学校に通うことがないように配慮する」
- Ⅱ 3（1）「通学時間についてはおおむね1時間を超えないように配慮する」

2 具体的な方策と見解

1 松が丘小校区を上野台中校区に変更する。

上野台中の推計生徒数（現在校区に居住している幼児数の90%が就学すると推計、R7までは省略）

	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年
1年	45(2)	55(2)	39(1)	52(2)	41(2)	31(1)	43(2)
2年	41(2)	45(2)	55(2)	39(1)	52(2)	41(2)	31(1)
3年	58(2)	41(2)	45(2)	55(2)	39(1)	52(2)	41(2)
合計	144(6)	141(6)	138(5)	146(5)	132(5)	124(5)	114(5)

【見解】

- ・校区変更をしても適正規模を確保することはできない。

2 松が丘小校区・三輪小校区を上野台中校区に変更する。

上野台中の推計生徒数（現在校区に居住している幼児数の90%が就学すると推計、R7までは省略）

	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年
1年	109(3)	118(3)	111(3)	126(4)	112(3)	96(3)	130(4)
2年	105(3)	109(3)	118(3)	111(3)	126(4)	112(3)	96(3)
3年	117(3)	105(3)	109(3)	118(3)	111(3)	126(4)	112(3)
合計	331(9)	332(9)	338(9)	355(10)	349(10)	334(10)	338(10)

* 三輪小校区の生徒数については、マンション建設による生徒数の増加を含んでいる。

【見解】

- ・当分の間、適正規模を確保できる見通し。
- ・上野台中校区に6小学校、八景中校区に1小学校（三田小のみ）となる。
- ・松が丘小・三輪小からの生徒の通学手段の確保が課題。

3 上野台中とけやき台中を「けやき台中」に統合する。

2校統合後の推計生徒数（現在校区に居住している幼児数の90%が就学すると推計、R7までは省略）

	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年
1年	216(6)	189(5)	137(4)	148(4)	139(4)	117(3)	109(3)
2年	184(5)	216(6)	189(5)	137(4)	148(4)	139(4)	117(3)
3年	212(6)	184(5)	216(6)	189(5)	137(4)	148(4)	139(4)
合計	612(17)	589(16)	542(15)	474(13)	424(12)	404(11)	365(10)

【見解】

- ・当分の間、適正規模を確保できる見通し。**通学手段の確保が課題**。
- ・路線バスを乗り継いだ場合、**通学時間が1時間を超える**ため、スクールバスの確保が条件となる。

4 上野台中・藍中・長坂中を統合して、新三田付近に新設校を設置する。

3校統合後の推計生徒数（現在校区に居住している幼児数の90%が就学すると推計、R7までは省略）

	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年
1年	96(3)	118(3)	88(3)	94(3)	88(3)	75(2)	70(2)
2年	101(3)	96(3)	118(3)	88(3)	94(3)	88(3)	75(2)
3年	110(3)	101(3)	96(3)	118(3)	88(3)	94(3)	88(3)
合計	307(9)	315(9)	302(9)	300(9)	270(9)	257(8)	233(7)

【見解】

- ・市域全体の約4分の3を占める広大な校区となり、**通学手段の確保が課題**。
- ・3校を統合しても、令和13年度には8学級となる見込みであり、**適正規模を下回る**。